地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業

防災リレー講座

第11回
地震のあと、建物の安全をどう確かめる？
― 避難所開設に必要な安全確認の基礎知識 ―

講師：岡本（おかもと）　森廣（もりひろ）　先生

他3名：森田先生、樋笠先生、上高原先生

大阪府建築士会

令和8年 12月5日（土）

13:15～16:45

場所：鳥羽市民体育館　中会議室
（Zoom参加）

https://forms.gle/HbJkjDmGwm6t1pZL7

二次元コードからPC、スマホでもお申込みいただけます

申し込みは裏面の連絡先、あるいは
左の二次元コードからお申し込みください

講師プロフィール

長年にわたり、鉄道関連施設をはじめとする建築物の設計・監理に携わり、奈良県や大阪府などでまちづくり賞を受賞。三重県では、鳥羽駅・中之郷駅・磯部駅・鵜方駅・賢島駅の調査・設計・許認可・監理を担当したほか、県内の多くの学校で耐震調査・診断・補強設計に関わってきた。また、国内各地の被災地で、建築物の応急危険度判定にも従事してきた経験を持つ。

1984年より大阪府建築士会の活動に参画し、2012年に第7代会長に就任。現在は名誉会長を務め、国際支援にも力を注ぎミャンマーでの地震後の支援を主導。建築界への長年の貢献が認められ、2015年に黄綬褒章、2020年に旭日小綬章を受章。

本リレー講座では、名誉会長に加え、大阪府建築士会に所属する森田茂夫先生（意匠・設備）、樋笠康男先生（構造）、上高原優生先生（施工）をお迎えし、4名の先生方にそれぞれの専門分野の視点からお話しいただきます。

鳥羽市

【主 催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共 催】鳥羽市　鳥羽市教育委員会

SEEDS
―防災で未来をつくる―

■開催趣旨

近年、南海トラフ巨大地震への備えに加え、事件や事故など、子どもや学校を取り巻く多様なリスクへの対応が求められるとともに、避難生活や教育の継続、地域コミュニティの再生までを見据えた備えも重要となっています。少子高齢化が進む今、地域の持続性を見据え、平時から学校と地域がつながり共に備えることが、これまで以上に大切になっています。

今回は、建築の視点から、学校や地域の建物の安全と、地震後の施設利用について考えます。国内各地の被災地で応急危険度判定に携わってきた講師の経験を通じて、地震が建物に及ぼす影響や、二次災害を防ぐための応急危険度判定の役割について理解を深めます。 学校が子どもたちの学びの場であるとともに、地域の避難所としての役割も担うことを踏まえ、避難生活や教育の再開につなげるために、平常時からどのような備えや連携が必要か、参加者の皆さんと共に学び考える機会とします。避難所開設の際に必要な安全点検と使用可否のご判断に関わる方に是非ご参加いただきたい講座です。

■プログラム（予定）

第11回：令和8年12月5日（土）13:15～16:45（質疑応答含む）

13:00 開場　（オンラインは13:05開場）
13:15 開始・趣旨説明
13:30 専門家によるご講義（途中休憩あり）
16:30 次回のリレー講座案内など
16:45 閉会

※当日の状況に応じてプログラムの時間配分が変更する可能性があります

■場所　：鳥羽市民体育館　中会議室＋オンライン(ZOOM)

■参加費：無料

■連絡先・申し込み方法　12月2日（水）〆切

※スマホ・タブレット端末をお持ちの方は、二次元コードから参加申し込みをお願いします

右の二次元コードから（どなたでも）

※二次元コード以外の参加申し込みの場合は、お電話・メールで受け付けます

＜電話の場合＞
鳥羽市教育委員会 学校教育課
☎㉕１２６５　（電話でお申し込み希望の学校関係者のみ）
鳥羽市　総務課 防災危機管理室
☎㉕１１１８（電話でお申し込み希望の市民の方）

＜メールの場合＞
SEEDS Asia鳥羽プロジェクトオフィス
Eメール：mitsuko.otsuyama@seedsasia.orgまで

二次元コードからタブレット端末・スマホでお申込みいただけます

本講座は、鳥羽市と認定NPO法人SEEDS Asiaが締結した「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業」に基づく共同事業の一環として実施し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構およびジャパン・プラットフォームによる支援を受けています。

休眠預金活用事業

鳥羽市

【主 催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共 催】鳥羽市　鳥羽市教育委員会

SEEDS
一防災で未来をつくる一